

「新 学校版環境ISO」
内部評価による実態調査

内部評価実施日 令和 4年11月12日

学校名	三島小学校
校長名	藤田 俊明
電話番号	0883-52-1375

■環境目標・テーマ ※様式第1号に記載したもの

～ふるさとの豊かな自然を守るために、進んで実践できる児童を育てよう！学校から地域に広げようエコプロジェクト～
 1. 「節電・節水」「ごみ分別」「リサイクル」に進んで取り組む児童の育成 2. 地域と共に校区の環境美化に取り組み、「スクールあい」を実践する学校づくり
 3. 「わくわくの森」の自然観察を通して環境問題を考える学校づくり

■今年度の行動方針（必須項目〔節電・ごみ分別・リサイクル〕， 選択項目1つ以上）
 ※「様式第1号 II 行動内容『行動方針』」に記載したもの

1	(必須項目) 学校における節電・節水に努めます。
2	(必須項目) 学校におけるごみの分別をきちんとします。
3	(必須項目) 学校におけるリサイクル活動を行います。
4	(選択項目) (c) 環境学習 地域の自然に触れ、環境学習に取り組みます。
5	(選択項目) (b) 環境美化 地域の清掃美化に努めます。
6	(選択項目)
7	(選択項目)

内部評価項目		評価基準	点数(リストから選択)	備考(実施した内容/変更・改善した点)
行動方針	行動方針は、児童・生徒及び職員全員がわかるように掲示(周知)しているか。	全員がわかるように掲示(周知)している。	2	2 全児童が通る、見やすい場所に「環境ISOコーナー」を設置している。
		全員がわかるようには掲示(周知)していない。	1	
		掲示(周知)していない。	0	
役割分担	行動の役割を分担しているか。また、役割分担を掲示(周知)しているか。	みんなで役割を分担し、掲示(周知)している。	2	2
		みんなで役割を分担し、掲示(周知)しているが不十分である。	1	
		役割の分担や掲示(周知)をしていない。	0	
行動	計画通り行動できているか。	計画通り行動できている。	2	2 ほぼ予定通り実施できている。
		計画より少し遅れているが行動できている。	1	
		計画通り行動できていない。	0	

「新 学校版環境ISO」
内部評価による実態調査

内部評価実施日 令和 4年11月12日

学校名 三島小学校
校長名 藤田 俊明
電話番号 0883-52-1375

記 録	宣言した項目の行動を記録しているか。	記録している。	2	2	
		記録しているが不十分である。	1		
		記録していない。	0		
記 録	記録は、児童・生徒及び職員がわかるように掲示（周知）または保管しているか。	掲示（周知）またはすぐ取り出せるところに保管している。	2	2	
		掲示（周知）または保管しているが不十分である。	1		
		掲示（周知）または保管していない。	0		
記 録	電気等の使用量を記録し、効果的に活用しているか。 ※電気の使用量以外でもよい ※CO2CO2ECOチャレンジ参加→2点 ※統計グラフコンクール出品(出品予定)→2点	記録してグラフ化するなど、効果的に活用している。	2	2	エコ・環境委員会がグラフ化し、「環境ISOコーナー」に掲示している。
		記録している。	1		
		記録していない。	0		
評 価	内部評価を行い、行動の成果、達成できなかった行動等を把握しているか。	把握している（内部評価シート等にまとめている）。	2	2	
		把握しているが不十分である（まとめていない）。	1		
		把握していない（記録がない）。	0		
見 直 し	内部評価により、会議を開き、改善点等を話し合ったか。	行動記録・役割分担を確認し、話し合った（職員及び児童生徒）。	2	1	内部評価をもとに、見直す必要がある内容を話し合う機会が少なかった。
		行動記録・役割分担を確認し、話し合ったが不十分である。	1		
		行動記録・役割分担を確認し、話し合っていない。	0		
	会議（話し合いの内容）を記録し、行動方針・役割分担・行動方法・記録に反映しているか。	記録し、反映している。	2	2	
		記録しているが、反映については不十分である。	1		
		記録していない。	0		

合計 17 点（自動計算）

判 定

総合評価（自動計算）	ほぼ適合
適合	18点満点
ほぼ適合	16点～17点
条件付き適合	14点～15点
不適合	13点以下

内部評価を終えて(実施した内容のまとめ/次の内部評価までの改善点等)
昨年度に引き続き、エコ・環境委員会が「電気使用量調べ」を毎月一回、「水道チェック」を毎週水曜日に実施した。今年度は、全校で集めているペットボトルキャップに関連した環境の出前授業も計画している。また、学校周辺の清掃活動に取り組んだり、学校近くにある河川の水質調査を行ったりして、自分たちが住む地域から目を向け、町や河川をきれいに維持していこうという意識を児童・教員ともに高めることができた。